

平成 30 年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：平成 30 年 7 月 12 日（木）午後 7 時～午後 8 時半

場所：地域交流センターともべ（トモア）

出席者：15 人

《フリートーク（意見交換）》

- 1 笠間市のイメージについて
- 2 ごみ処理について
- 3 災害時の対応について
- 4 東海第二原発の再稼働について
- 5 公共施設のエアコンの設定温度について
- 6 道路の反射帯について
- 7 通学時の児童の安全対策について
- 8 市内の道路について
- 9 出前講座について

1 笠間市のイメージについて

【意見等】

昔、旧笠間市は定年になったら住みたいまちランキングの上位に入っていた。旧友部町は福祉のまちのイメージが定着していた。そのような人にやさしく、特色のあるまちのイメージがあることはとても良いことだと思う。今後もそのイメージを維持して欲しい。

【回答】

民間が行っている調査の中で、シニアが住みたいまち部門で北関東地区第 3 位に笠間市がランクインしました。理由として、茨城県立中央病院やこころの医療センター、地域医療センターかさまがあることで、医療・福祉のイメージが強いという点と、クラインガルテンのようなシニア世代が移住しているイメージが強いことによる順位かと思えます。まちづくりを行ううえで、そのようなイメージを形成していくことはとても大切だと考えています。

2 ごみ処理について

【意見】

現在、ごみの焼却施設はエコフロンティアかさまと笠間・水戸環境組合の 2 カ所にあるが、施設の老朽化等で建て替えの時期がせまっているため、建て直

す時は 1 つにまとめて、市民が使いやすい施設にして欲しい。現在、ごみのリサイクル率が下がっているので、広報紙でごみのリサイクル率を掲載する等、市民に見える形で情報を発信し、いかにリサイクルに取り組まなければいけないかを考えさせるような広報を行って欲しい。

【回答】

現在は、一市二町の合併の関係で、旧笠間地区はエコフロンティアかさま、その他の地区は笠間・水戸環境組合で処理をしています。新しい一般廃棄物処理基本計画の中では、建設場所は未定ですが、6年から7年先を目安に1カ所にまとめて処理を行う施設を建設する予定です。現在、施設へごみを持ち込む人がかなり多く、大通りまで渋滞してしまっています。また、対応する職員の人件費もかかる等、ごみの処理費用は過去5年間の平均で7億5千万円ほどかかっています。どうしたら施設の効率的な運用ができるのかを考えるだけでなく、ゴミの出し方のルールや持ち込み料金の見直し等、全体的な見直しが必要になってくると思います。

3 災害時の対応について

【意見】

大阪府北部地震で、ブロック塀の下敷きになって亡くなった方がいる。その後、市で同様のことが起きないようにブロック塀の調査をしたと思うが、どうだったのか。また、ブロック塀に対する撤去・改修の補助金を考えているか。その他、災害時に聴覚障がい者や外国人などの災害弱者を助けられるような人材の配置や、マニュアル等の作成ができているのか伺いたい。

【回答】

ブロック塀の緊急点検を行った結果、7つの小中学校と、1つの公共施設で危険と思われるブロック塀が発見されましたので、早急に改修、または撤去などの対応をしていきます。通学路については、学校等において調査をしていますが、笠間市では東日本大震災で強度不足のブロック塀はすでに壊れてしまっているという現状があります。しかし、残っているブロック塀の中でもひびが入っている等弱っているものもあるため、民間住宅のブロック塀に関しては各個人の責任で管理する旨、お知らせを行っています。

補助金については、いまのところは考えていません。公共施設や学校等のブロック塀の改修に関しても、国や県から補助金が交付されるという話は今のところありませんので、自己責任で改修等の対応をしてほしいと思います。現在は、建築士等が安全なブロック塀かどうかを検査機器ですぐ検査してくれます

ので、不安だと思われる方は調査だけでも行ってほしいです。

また、色々な障がいを持つ方の災害時の対応については、行政はもちろんのこと、地域のみなさんのご協力を得ながら対応していきたいと思います。今後さらに外国人の方が入ってくると、言葉の問題が障害になる可能性があります。現在、英語を話せる市の職員もいますので、英語に関してはあまり心配していませんが、その他の外国語を話せる人材がなかなかいないので、今後はアジア圏の語学の研修等も必要になってくるかと思っています。

手話については、ボランティアサークルで研修を受けたりしましたが、なかなか習得するのは難しいところです。障がい者や国際化に対応していくことは必要かと思っています。

4 東海第二原発の再稼働について

【意見】

東海第二原発の再稼働は、子どもや孫の将来を考えるととても不安に感じる。市長には市民の安心・安全な生活を守るため、不安の大きい再稼働には踏み切らないよう、先頭に立って頑張してほしい。

【回答】

笠間市では、東海第二原発が再稼働するしないに関わらず、原子力発電に関する施設があるということで、避難計画を作成しました。原発の再稼働の是非に関しては、私自身の考えは今のところ明言していません。市としては、隣接自治体の動向を見ながら判断していきたいと思っています。

5 公共施設のエアコンの設定温度について

【意見】

先日、地域医療センターかさまに行ったところ、冷房が利きすぎてとても寒かった。確認したところ、24℃に設定されていた。設定温度は28℃が基本なのではないか。

【回答】

エアコンの設定温度については、人が多い時は下げるなど臨機応変に対応していますが、基本的には26℃で設定していますので、今後は設定温度を守るよう徹底していきます。

6 道路の反射帯について

【意見】

地域医療センターかさま近くの隧道に立っているセンターポールの反射帯が消えかかっている。夜になるとほとんど反射せずとても危険なので、新しい反射帯に付け替えて欲しい。

【回答】

反射帯については、県道・市道に関わらず、窓口は市で結構です。その道路は県道ですので、県に伝え、早急に対応してもらおうようにします。

7 通学時の児童の安全対策について

【意見】

通学時に児童が変質者等にあわないような対策をお願いしたい。他市では、地域の大人が通学時の見守りを行っているところもある。交通事故の問題もあるので、児童を見守る体制が必要ではないか。

【回答】

全国的に通学・下校時に児童が事件に巻き込まれることが多く、市でも対策が必要だと考えています。対策には二つあり、一つは人的対応で、地域での見守りです。市内全てで行うのは難しいかもしれませんが、人の目は犯罪防止にもつながるので、できるだけ地域のみなさんのご協力をお願いしたいと思います。二つ目は予防的対応で、防犯カメラを設置していくことです。市では、学校等の公共施設や、主要交差点に設置しています。

今年度は、県が設置費用の約半分を補助することになりましたので、今後も市内の主要箇所には防犯カメラを設置していく予定です。

8 市内の道路について

【意見】

笠間市内で特に友部地区は幅が狭い道路が多いように感じる。車がすれ違いのにもやっとの道路が多く、安全面の関係からも対策が必要だと思う。また、予算等の問題もあるかと思うが、交通量が多い場所の路面標識等は管理を徹底してほしい。先日、柿橋地区の接骨院前のセンターラインと外側線が消えていることを市役所に伝えたところ、それは警察に言ってくれと言われた。これは警察ではなく、道路管理者である市が対応すべきなのではないか。

【回答】

友部地区に限らず、4メートル以下の全ての道路幅を広げる必要性はないと思いますが、4メートル幅の道路が5メートルになれば、土地の利用価値も上がりますし、周辺住民の利便性も向上すると思います。生活道路の充実のため取り組んでいますが、場合によっては地権者の方のご理解を得られず、幅員を広げたくても広げられない道路もあります。

また道路が広がれば、当然管理も必要になってきます。一昨年と去年、二年続けて学校周辺を中心に市道のセンターラインと横断歩道の引き直しを行いました。道路管理者が白線の引き直しを行うのが基本ですので、警察へと言ったのは間違いです。ただ、横断歩道に関しては、新設については全て警察が行い、引き直しについては、ケースバイケースで市が対応する場合もございます。ご指摘の箇所については、早急に調査します。

9 出前講座について**【意見】**

先日出前講座に出席したが、市の職員が大変勉強をされていてとても感心した。できれば、市民と職員が一緒になって勉強ができるような講座があればよいと思う。

【回答】

職員も色々な場所に出向き、人前で話すことで、職員自身の訓練にもなっていると思います。出前講座については、市民のみなさんにどんどん活用して頂きたいです。